

議会だより



6月定例会のあらまし	2
6月補正予算の主なもの	3
予算特別委員会の質疑	4
一般質問	6
採決結果表	9
常任委員会の報告	10
置広・置病議会報告	12
追加議案の審議	13
水防大会のインタビュー	14
市民の声・表彰	16

さあ、夏本番!

新文化会館建設始動

6月 定例会

追加議案

木構造材製作工事請負契約を可決 給与削減条例案を否決

6月定例会のあらまし

6月定例会が7日から21日までの15日間の会期で開催されました。一般会計補正予算案・条例案等はじめ13議案を審議しました。
一般質問は7人が行い、医療・経済・健康・教育問題を議論し、市政をただしました。

一般会計補正予算案等11件を上程

開会初日は市当局より報告2件、諮問1件、同意1件、条例その他5件、補正予算案2件、合計11議案の提案説明を受けました。

土地開発公社及びハイジアパーク南陽の24年度決算及び25年度の事業計画について報告されました。諮問案の人権擁護委員候補者一人戸芳樹氏の推薦については同意。また固定資産評価審査委員会の選任については、三浦俊子氏を同意しました。

条例その他案5件、

補正予算案2件は各委員会に付託しました。

一般質問に7人 持ち時間ぎりぎりまで 議論展開

今回の一般質問は高橋一郎、船山利美、板垣致江子、片平志朗、川合猛、佐藤明、白鳥雅巳議員の7名で10・11日の2日間行いました。

各議員は、健康のまちづくり、人口減少対策、産業のまちづくり、部活動のあり方、がん撲滅対策、甚大な災害発生後の支援体制等々について具体的な政策

提案を含め、持ち時間

1時間をフルに使い、当局の考えや施策についてただしました。

(一般質問関連記事は6〜9頁に掲載)

常任委員会 付託審査

13日に総務、17日産業建設の各常任委員会を開催し付託された議案を審査しました。

その審査内容と結果については、10〜11頁に掲載していますのでご覧下さい。

予算特別委員会

18日に予算特別委員会を開催。一般会計補正予算・国民健康保険特別会計補正予算2件を審査し、5人の委員から質疑がありました。可決しました。
一般会計補正予算の

主なものは、宮内こども園(宮内幼稚園)・漆山保育園整備事業費補助金で総額は3億4197万円余り。歳入歳出予算の総額は151億4197万円余りとなりました。

議会最終日
各委員長報告・追加議案を審議

議会最終日 各委員長報告・追加議案を審議

議会最終日は各委員会の審査結果報告を行い、表決の結果、条例・その他議案5件・補正予算2件を原案どおり可決しました。

追加議案2件については、新文化会館施設木構造材製作工事請負契約の締結は委員会付託を省略し可決しました。

一般職員等の給与削減条例案は総務常任委員会付託。委員長より否決の報告がされました。

本会議で採決の結果、全会一致で否決しました。議会事務局によると当局の議案が否決されるのは25年ぶり。

国家公務員給与の減額措置に準じ、地方自治体にも協力要請されたもので、地方の実情を無視する強引なやり方に不満を抱いている議員も多い。今後この条例案の修正案が再提出されるか不明だが、議会側は当局の動向を見守り対応していく姿勢です。

(追加議案の詳細は13頁をご覧ください)



議会を熱心に傍聴する市民のみなさん



田町にある現在の園舎。黄金町に新築される。

宮内こども園(仮称)の新築補助

25年度補正予算
3億4,197万円
ここに
注目★

1億4352万円

宮内幼稚園を運営する学校法人南陽学園が主体となり、今年と来

年の2年で宮内黄金町内に建設されます。定員は幼稚園が75人、保育所が50人の計125人で、幼保連携型認定こども園として運営されることとなります。開園は幼稚園が来年4月予定で、保育所は来年のできるだけ早い時期を目指しています。

コンバイン等の導入を補助

6,000万円

農家がコンバインなどの農業用機械を導入する際に、補助金が交付されます。

助成額は、機械等の取得価額から、金融機関の融資額などを差し引いた金額で、取得価額の3割が上限となります。

25年度当初予算にも計上されていましたが、使い勝手の良さから既に18件申請があり、予算枠に迫ったため増額補正します。



現在の園舎。解体した跡地に学童施設と合築。

漆山保育園の改築補助

8931万円

現在の園舎を解体した跡地に、社会福祉法人双葉会が主体となり新しい園舎が整備されます。定員は30人で、0歳の乳児から5歳児までの保育を行う計画です。市運営の学童保育施設との合築で、開園は来年4月を予定しています。

その他の主な事業

☆公民館等に通信カラオケを設置	65万円
☆アスパラのハウス等購入補助	1,883万円
☆小学生向け熊よけスズの購入等	210万円
☆西工業団地を梨郷に拡大する費用	351万円
☆無料法律相談(月2回)開催費	36万円
☆緊急速報メール連携システム設置	431万円
☆平山郁夫画伯展覧会事業の補助	540万円

医療費無料化拡大の準備費

193万円

医療費無料化の対象を小学3年生の通院費まで拡大。今年10月開始の見込みです。

これまでは就学前の乳幼児が無料化の対象でしたが、子育て世代を社会全体で支援するために拡大します。子育て支援医療証を管理するシステム改修費等がこの度の補正です。

なお義務教育中の無料化は、今回の実績等を踏まえ、26年度中に検討とのこと。

※1 認定こども園は、幼児教育と保育を提供する機能と子育て支援機能を併せもつ施設です。
※2 適切な人・農地プランに位置付けられた中心的経営体に該当する農家。

での質疑

6月
定例会

高橋 一郎 議員

新文化会館の補助金等は大丈夫か

◎国の復興予算流用問題が報道され、財務省は未執行分を停止し、返還を求めるとしている。その中に、農水省の森林整備加速化林業再生基金も入っている。新文化会館は同基金からの補助金であり間違いないか入ってくるのか。

〈企画財政課長〉 24年

度の補正であり復興予算ではなく、経済対策予算であり中身が違うものである。林野庁にも口頭だが確認済みだ。◎新文化会館だけでなく市全体に関わる大変重要な問題だ。市長にもお聞きする。

〈市長〉 担当課長の説明のとおりで異質の内容。ひたすら、完成を見守っていただきたい。



客席からのイメージ図



舞台からのイメージ図

佐藤 明 議員

漆山保育園整備額と完成時期は

◎漆山保育園整備の総額と国、県の補助金は。〈福祉課長〉 総額で1億1500万円、補助金は県から4892万円、市から2446万円だ。

◎国の持ち出しは。

〈福祉課長〉 保育所緊急整備事業は国の安心こども基金を財源としており、県からのものはすべて国のお金だ。



改築前の漆山保育園

◎25年度内の完成は間違いないか。

〈福祉課長〉 25年度単年度の補助金であり、事業主体の双葉会と課題を整理して年度内完成を進めていく。

◎建築の専門家は、年度内完成に疑問を持っているがどうか。

〈福祉課長〉 建築面積460㎡は今の施設の7割程度で、半年あれば大丈夫だと思うので年度内完成に向けて鋭意努力したい。

白鳥 雅巳 議員

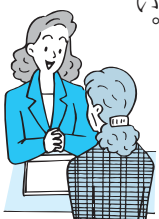
地域自殺対策は具体的にどんな内容で行うのか

◎どのような方が講師で、どのような人を対象に、どんな内容で行うのか。

〈福祉課長〉 講師、日時はまだだが、自殺対策に関わる人材養成事業に取り組む。身近なところで自殺危険性の高い人を早期に見つけ、関係機関につないでいけるゲートキーパーの養成講座としたい。

◎そういう人選はどうするのか。

〈福祉課長〉 高齢者の自殺が多いというデータもある。高齢者が集まる老人クラブ、サロンといったもので行いたい。

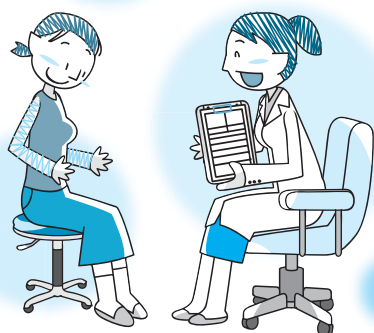


予算特別委員会

板垣致江子 議員

子宮頸がんワクチンのリスクと100%のガン検診を

◎厚労省から子宮頸がんワクチンの積極的な勧奨を控えるという報告があった。南陽市の25年度の接種状況は、
〈保健課長〉 厚労省から市内医療機関17カ所に通知があり、接種勧奨を行わないよう医療



機関を廻った。6カ月で3回接種が必要だが、接種状況は23年1647人、24年延べ5000人、25年の接種は保護者の判断で行うことになる。

◎当初予算で2653万円計上しているが、25年はどなたも受けてないということか。

〈保健課長〉 本年3月末に接種勧奨を出した。中学1年から高校1年

まで対象だが今まではほとんど接種している状況だ。25年も何人かいるが、今後接種する予定だ。

◎その何人かの方は、何回受けたのか。

〈保健課長〉 今年度は、ほとんど受けていない状況だ。

◎保護者間での問題は、1〜2回受けたが今後どうするかだ。市に相談はないのか。

〈保健課長〉 相談はない。国での副作用に関する因果関係の調査動向を踏まえて、今後対応していく。

◎子宮頸がんワクチンのリスクについて保護者と医療機関への十分な説明と同時にワクチン接種したから良いのではなくて、子宮がん検診を100%受診するような告知をお願いする。



南陽市の顔、白竜湖とその周辺

山口 正雄 議員

南陽の売り物である景観を守れ

◎鳥上坂から見る景観は南陽市の売り物なのに、白竜湖東側の山々の木が赤くなっている。緑環境税を活用して、対応して頂きたいが、その予定はあるか。

〈農林課長〉 緑環境交付金事業については、ナラ枯れなどの対策を考えている。指摘の場所については、状況等を把握して対応を検討して行く。

◎是非、早く対応して頂いて、南陽ブランドが傷つくことのないようをお願いしたい。

答 弁 要 旨

(仮称) 温泉健康マイスター資格を 独自につくり温泉力アップ！

高橋 一郎 議員



◎赤湯温泉の泉質は単純性塩化物泉で、あつたまりの湯。脳を活性化するリチウムイオン濃度も1.6mgと県内では高い。文人が休養する有馬温泉は60mg前後と非常に高く、精神安定に良い。また、高血圧の人は半身浴をして心臓に負担をかける全身浴はしないとか、慢性婦人病は熱い湯で5分、ぬるま湯で15分、肝臓病は飲泉も併用するとか温泉の入り方などを温泉客や市民にアドバイスする(仮称)温泉健康マイスター資格制度を市単独事業として創設するのはどうか。一目でわかる症状別入り方などを記載したものを浴場に貼る。旅館、観光事業者のスタンプを主体として人材育成と普及を図ることを提案するがどうか。

〈市長〉全国でも珍しい制度で県内では実施していない。栃木県那須塩原温泉では観光協会が資格認定している。温泉健康マイスターは、温泉の基礎知識、健康に役立つ温泉入浴方法、温泉観光案内等を観光客に伝授する「温泉の専門家」で、赤湯温泉を持つ本市においても今後の検討課題としていく。

◎60歳超〜74歳の健康づくりと市民体育館やハイジアパークの活用向上策を兼ねて会員制健康生活クラブをつくり会員への病気・けが予防のトレーニングを行う。その際、会員の送迎は無料で機敏に行う提案はどうか。

〈市長〉どれだけの需要があるのか調べる必要がある。今後の研究課題としたい。

公表されたデータから見る深刻な 人口減少対策は！ 生活保護法改正の影響は！

船山 利美 議員



◎国立社会保障・人口問題研究所が公表した2040年の本市の推計人口は2万3412人で約1万人減少する。吉村知事は人口減少対策として合計特殊出生率の目標値を1.7と掲げた。本市は現在1.58だが県と歩調を合わせて取り組んでどうか。

〈市長〉第5次総合計画の目標値である年間出生数3000人を確保できれば1.8程度になるので県と歩調を合わせながら改善に取り組む。

◎人口減少の要因として女性の晩婚化や非婚化があるが、結婚推進係の実績や効果、目標などはあるか。

年間成婚数3件を目標。

◎定住促進策として小学校3年生までの実質医療費無料化を検討しているが、義務教育までかどうか。また、子育て応援団地の整備はどうなっているか。

〈市長〉小学校3年生までの無料化は10月には開始できる。義務教育までの無料化は今後検討する。また、子育て応援団地整備は、宮内地区を候補地として前向きに取り組む。

◎抜本的な改革として生活保護法が改正されるが、本市の不正受給等の実態はどうか、受給者の減少はあるのか。

〈市長〉不正受給は平成22年度に1件あり、娯楽費に使用や度を過ぎた飲酒の課題もある。就労促進を強化した場合、稼働年齢層世帯13世帯の半数減少見込み。

観光のまち南陽 おもてなしの心と南陽の宝の活用を



板垣致江子議員

◎今年の桜、観光への影響は？観光のまちとして「咲かなかった」でなく、笑顔で帰ってもらえる祭りの企画を。

〈市長〉入場者は昨年の7割、宿泊者は昨年の7割、桜の管理は専門家や保存会実行委員会と対策を図り、観光客に喜んでもらえる対応を検討していく。

◎観光地のバリアフリー化がより求められている。来年の山形D Cに向けても重要では。

〈市長〉旅館や観光施設では各々進めているが、今後も「温泉旅館近代化促進事業奨励金」によりバリアフリー化を支援していく。

◎30年開通予定の東北中央自動車道からの誘客も含め南陽市に道の駅的な施設の設置は。

〈市長〉道の駅の設置は考えていない。東北中央自動車道の南陽パーキングエリア内や周辺に、観光PRや農産物土産品の販売ができる所を要望。南陽市の魅力を発信し観光客の誘客に努めたい。

◎十分一山からの景観は海外の人にも絶賛されている。「南陽の宝」として守り、活用するべき。市民もそれぞれ頑張っている。十分一山及び白竜湖周辺の整備や企業の森の今後の取り組みは。

〈市長〉十分一山は景観保全の観点で22年度より整備を行い、今年度も継続して整備予定。白竜湖周辺も繁殖するヨシを刈るなど環境保全を図る。イオンの森は今後市でしっかり管理する。スカイパークへの通り道として見た目も良くしなければと考える。



片平 志朗議員

部活動における 体罰撲滅に向けて！ 金属スクラップ火災の防止策は！

◎部活動における体罰問題は全国的に後を絶たない。その背景として勝利至上主義に走るものが要因として指摘されている。学校教育の一環としてや少子化に伴うあり方として再構築していくべきだ。市内における部活動中の体罰の現状と今後の方向性については。

〈教育長〉昨年11月の1件以来報告はない。生徒、保護者から申し出があった場合は、すぐに各校の校長・教頭が対応するように指示をしている。市内各中学校には文化部を含めて沖郷中11、赤湯・宮内中各12の部がある。少子化に伴う部活動の再編整備は、各校の実態において取り組まれているが、生徒や保護者の願いがあり部数削減は大変難しい面がある。県、地区中体連等との連携も図り、今後検討課題としていく。

◎家電リサイクル法の施行により、指定の家電製品は専門業者に有料で処分してもらっているが、近年は不足している金属類を補うために家電製品まで解体リサイクルされている。その際発火し大規模な火災になる例がある。置賜管内の火災の現状と今後の対策は。

〈市長〉昨年は全国で金属スクラップ火災は20件の火災が発生している。置賜管内では過去20年間は発生していない。産業廃棄物処理法や家電リサイクル法等により様々な規制がかけてはいるが、今後とも廃家電が適切に処理されるよう、指導・監視・市報等で周知徹底していく。

※DC 地方自治体及び地域の観光事業者等がJRグループと連携して、対象エリア（デスティネーション）の集中的な宣伝を広域で実施することにより、全国からの誘客を図ることを目的とする日本最大規模の観光キャンペーン。

答 弁 要 旨

南陽市の教育について 複式学級は不公平ではないのか？

川合

猛議員



◎食物アレルギーによる事故が起きている。市内小中学校におけるアレルギー症の児童・生徒の人数は。また、どのような対策をとっているのか。

〈教育長〉食物アレルギーを有する児童生徒の人数は、小学校全体で23人、中学校全体で3人となっている。その対応だが食物アレルギーは、卵、牛乳、小麦、そば、ピーナツ、甲殻類など特定の物を食べることで、じんましんや呼吸困難、吐き気などの症状が現れる疾患で、短時間で複数の臓器に症状が出る場合はアナフィラキシーと呼ばれ生命にかかわる場合もある。そのため各学校を通じて、保護者より医師の診断書の提出および面談を行い、アレルギー食材の

除去食や代替食による特別給食を個々に合わせて提供している。給食献立は保護者・学級担任・養護教諭・給食センター栄養士と情報共有し、個別の献立表を作り、家庭・該当教室・職員室に配備して、すぐ確認できるようにしている。

◎複式学級は不公平だと思いが、単式学級との格差を無くすため、どのような対策をとっているのか。

〈教育長〉複式学級のある学校には指導力・実践力のある先生を配置し、特別に常勤の支援員1名を配置している。少人数のメリットを活かした指導法や格差をなくすための工夫をしている。今後複式学級編成の定員については県教委等とも協議の場を持ちたい。

雇用確保の具体策と 今後の見通しは

佐藤

明議員



◎働く人の賃金の低下と労働条件の悪化に歯止めがかからず、勤労者の平均賃金は、ピーク時の1997年より年収で約70万円も減っている。この10年余りの間に平均でも月収の2カ月分程度の収入がなくなっただから、ローンや教育費をはじめ、労働者とその家族のくらしの悪化は深刻であり、賃上げと安定した雇用への願いは切実であるが雇用確保の具体策はあるのか。

〈市長〉23年度から南陽・高島・川西地域雇用創造推進協議会において、新たな雇用機会の充実に取り組んでいる。本市においては、雇用拡大メニューとして「ワイン用ぶどう栽培技術研修会」「観光サポート人材育成セミナー」及び「創業（起

業）支援セミナー」開催。また、就職促進メニューとして「巡回就業相談」等を実施している。

◎今後の雇用創出事業の見通しはどうか。

〈市長〉今までの事業で23年度及び24年度の2カ年の一市二町における雇用創出は、3月末までに127人、25年度は77人見込んでいる。26年度以降は事業が継続されるか、これに類する事業が実施されるかどうかは、国からの通知・説明等はないが、国県の動向を注視しながら対応できるように心がけていきたい。本市としても雇用の創出は重要なので今後とも労働雇用実態調査、企業訪問を通じて雇用確保に努力していきたい。



白鳥 雅巳議員

AED講習の推進や がんに対する知識など命の教育を

◎AED訓練など教育現場での救命についての取り組みはどうなっているか。

〈教育長〉市内すべての小・中学校において、教職員を対象に心肺蘇生法やAED講習を実施している。

◎市民の救命講習の受講状況はどうか。

〈市長〉消防広域化後の24年度の普通救命講習受講者は423名となっている。防災や危機管理の観点から一人ひとりがAEDの取扱いなど救命に関する知識を習得されることが望ましいと考えている。今後とも多くの方に受講していただくよう市報や各種講習会等でPRを図っていく。

◎がん対策における受診率向上への取組みは、

〈市長〉毎年1月の検診世帯調査票送付時に、

勸奨パンフレットを同封するとともに市報や市のホームページに掲載し、がん検診の受講奨励を行っている。

◎胃がん検診に有効なABC検診の取り組みはどうなっているか。

〈市長〉ABC検診は胃がんになりやすい状態かを分類するリスク管理の検診法だが、市ではバリウムを飲みエックス線での検査法で行っている。今後検査法の評価や他市町の動向を見て検討する。

◎甚大な災害発生後の支援策については、

〈市長〉医療機関の機能が停止し、住民が治療を受けられない場合、公立医療機関へ要請し救護班を編成、医療活動をする。また、県に対し県医師会・日本赤十字・自衛隊などの派遣協力依頼をする。

提出された議案とその結果

議案番号	議案名等	採決結果
報第4号	南陽市土地開発公社経営状況説明書について	了承
報第5号	株式会社ハイジアパーク南陽経営状況の説明について	了承
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（任期満了にともなうもの・再任・一戸芳樹氏）	同意(全会一致)
同意第2号	南陽市固定資産評価審査委員会の委員の選任について（新任・三浦俊子氏）	同意(全会一致)
議第37号	南陽市新型インフルエンザ等対策本部条例の設定について	可決(全会一致)
議第38号	南陽市税外収入の督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決(全会一致)
議第39号	南陽市赤湯財産区温泉条例の一部を改正する条例の制定について	可決(全会一致)
議第40号	南陽市道路線の廃止について	可決(全会一致)
議第41号	南陽市道路線認定について	可決(全会一致)
議第35号	平成25年度南陽市一般会計補正予算（第2号）	可決(全会一致)
議第36号	平成25年度南陽市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決(全会一致)
追加議案 議第42号	南陽市新文化会館施設木構造材製作工事請負契約の締結について	可決(賛成多数)
追加議案 議第43号	南陽市一般職の職員等の給与に関する臨時特例条例の設定について	否決(全会一致)

議案に対する議員の賛否表

議案	議席番号 氏名 会派	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		白岩孝夫 保	高橋一郎 真	船山利美 敬	山口正雄 敬	白鳥雅巳 保	片平志朗 倫	吉田美枝 倫	梅川信治 倫	川合猛 敬	高橋弘 敬	板垣致江子 真	高橋篤 保	田中貞一 無	遠藤榮吉 無	佐藤明 無	伊藤俊美 敬	殿岡和郎 無
議第42号	新文化会館木構造材製作工事請負契約の締結について	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○
議第43号	南陽市一般職員等の給与に関する臨時特例条例の設定について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×

*○=賛成 ×=反対 議=議長（議長は採決に加わらない）
*会派 敬=敬陽会 保=保守・公明クラブ 倫=倫政会 真=真風会 無=会派に属さない議員

市職員等の 給与減額案を委員会否決！

総務 常任委員会

6月13日 審査

○新型インフルエンザ
等対策本部条例の設定

市は国県の行動計画
が策定された後に策定
する。

○税外収入金の督促手
数料及び延滞金徴収条
例の一部改正

税の延滞金等との均
衡を失しないよう市税
条例と同じ内容に改正。

○赤湯財産区温泉条例
の一部改正

内湯旅館業者と公
共施設の温泉供給量変
更のための改正。

○請願 地方公務員給
与費に係る地方交付税
の削減措置の撤回

3月からの継続審査。
県内他市での請願が行
われていないこと、給
与削減の動きも現時点
では同じ方向に向かっ
ていないことから、な
お継続審査とした。

6月21日 追加審査

○南陽市一般職の職員
等の給与に関する臨時
特例条例の設定

25年7月から26年3
月までの間、職員の給
料月額を平均4.91%
減額して支給すると共
に、市長、副市長、教
育長の報酬の10%を減
額して支給するための
特例条例。

委員から、削減趣旨
は理解できるが、国と
地方の協議の場が十分
に開かれていない中で
の条例案については賛
成すべきでない。職員
給与の削減で4500
万円ほど下がれば地域
経済に影響が出るので
はないかとの意見が出
された。

審査の結果、原案に
賛成者はなく、総務常
任委員会全員一致で否
決すべきものと決した。
(委員長 吉田 美枝)

管内視察レポート

留置場内 初めての視察 ・ 防犯カメラ 抑止力効果抜群



地下に射撃場がある南陽警察署

「トラ箱」に関心が
高まる。庁舎3階の柔
剣道場、別棟地下の拳
銃射撃練習場も視察。
日頃からのためまぬ敵
しい鍛錬を思い知る。

◆赤湯駅防犯カメラ

東口に2台、西口に
1台設置の防犯カメラ
で、今年4月より運用
開始。画像の鮮明さに
は驚く。以後、自転車
盗難件数ゼロと犯罪の
抑止力効果は抜群。



駅舎屋根に防犯カメラが設置されている

◆法務省 置賜学院

初等及び中等少年院
を併設する6カ月以内
の短期処遇の専門施設。
東北6県及び栃木、新
潟出身の少年19名が収
容。規則正しい生活そ
して豊かな自然環境の
下、社会生活に適応で
きる教育、訓練を受け
ている。居室は清潔で
整理整頓がゆきとどき、
柵の上の美しい鉢植え
の花が心を癒していた。
(委員長 吉田 美枝)



米沢市下新田にある置賜学院

市役所北線 新文化会館接続道路として認定

産業建設
常任委員会



梨郷インター付近の市道整備予定地

◆南陽市道路線の廃止について

廃止路線は4路線で、中川東線はJR奥羽本線静川踏切の廃止に伴い市道が分断されることから廃止するもの。また、中川駅南線と長岡南線及び市役所北線の3路線は市道再編のため終点を変更し再認定するため、一旦廃止するもの。

◆南陽市道路線の認定について

中川駅南線は市道中川駅東線の一部区間を

引き続き市道として維持管理することから終点を変更して認定するもの。

長岡南線は当該区間に市の公共下水道宮内長岡幹線が埋設されており、市道路線の連続性を確保するため終点を変更し認定するもの。

市役所北線は新文化会館の接続道路、主に施設管理用道路として整備を図り認定するもの。

梨郷インター線は高規格道路新潟山形南部連絡道路、国道113号と一般県道梨郷赤湯停車場線を結ぶインター接続道路として整備し交通の円滑化を図るため認定するもので現地で説明を受け審査した結果、全員異議なく原案のとおり可決した。

(委員長 白鳥 雅巳)

管内視察レポート

● 東北中央道工事 小岩沢で着々と ● 漆山の通行止県道 雪崩防止壁を施工

5月20日、6カ所の管内視察を行った。

◆東北中央自動車道関連工事、吉田橋と上山IC（仮称）工事

小岩沢の工事場所を視察。国道13号から建設予定地に接続する工事用道路を造成するため、資機材や土砂等の運搬などで過大な重量負荷を吉田橋に加え、損傷や崩壊などを与えないよう、仮橋を架ける



工事道路を造成中の吉田橋付近



漆山地内の災害現場

る段取りをしているとの説明を受けた。また、上山インターチェンジ完成予想図で説明を受け、現在は圃場内にパイプラインが埋設されており、それを側道やボックスに切り回す工事をしているとの説明を受けた。

◆米沢南陽白鷹線災害復旧現場

3月9日午前、漆山地内で発生した全層雪

崩で通行止めになった県道の復旧状況を視察。説明では、雪崩斜面の地盤の劣化がひどく、原形復旧が困難であることから、その対策として道路、河川を約120m付け替え、道路前面に雪崩防止壁を施工するとのこと。その他、雨水幹線・農工団地・南沢鉾山鉾害事業の3カ所を視察した。

(委員長 白鳥 雅巳)

※**・バイオ酵素で生ごみを再利用**
・一市二町の汚泥を処理



赤湯中授業を視察

◆赤湯中学校

鎌田校長より、現在370名の生徒数で、テストの学力だけでなく、粘り強く考える力を培い人生を生き抜く土台になる教育をしているとの説明を受ける。

◆結城豊太郎記念館

加藤館長より、記念館の役割や運営の基本方針を伺う。2万点もの遺品を収蔵した博物館としての役割、また人づくりの役割から、青年が集う場にしたいとのこと。結城豊太郎翁の格言『ふるさは国の本なり』をしみじみ思う。

◆県南食品リサイクルセンター

生ごみ、食品残渣等の廃棄物をバイオ酵素の力を利用して農地に戻す循環型社会の実現に向けての取り組みとの説明を受ける。



リサイクルセンター視察

◆南陽クリーンセンター

南陽、高島、川西のし尿、浄化槽汚泥を一次処理している施設。処理能力は一日85klとのこと。搬入体制については、し尿は委託方式で2社に、浄化槽汚泥は認可方式で4社との説明を受ける。
(委員長 高橋 弘)

議会報告

置賜広域行政
事務組合議会

5月31日臨時会が開催され、補正予算議案を含め7議案が審議され全て可決された。また、新たに正副議長の選挙が行われた。

議長は齋藤修一氏(川西町)、副議長は小関勝助氏(長井市)。

◎24年度一般会計補正予算(専決処分)

電算共同処理事業費や余熱利用施設整備基金額の確定・汚泥再生処理センター建設事業費の補正が主なもの。13億8904万円を減額し、予算総額38億400万円となった。

◎25年度消防特別会計補正予算

消防車両の取得にかかわる補正で、水槽付

消防ポンプ自動車と高規格救急自動車合わせて2台を取得。

取得金額は8345万円となり、予算総額25億6783万円となった。

(置広議員 片平 志朗)



今回取得する消防ポンプ車と同型(米沢東部分署配備)

置賜広域病院
組合議会

臨時会が5月30日開催された。

提出議案は3件。

①議会副議長の選挙については、山形県議会選出の船山現人議員

が副議長に選出された。

②有識者監査委員の選任については、海老澤信夫氏の辞職に伴い、公認会計士・税理士である南陽市の高石宏典氏が選出された。

③議会選出監査委員の選任については、金子一郎議員の辞職に伴い、川西町議会選出の高橋忠議員が選出された。

その後開催された議会全員協議会では、渋間病院長より今年度の病院運営方針が示された。

置賜地域の中核病院としての機能の発揮・遂行のために

- ・高度医療・救急医療
- ・患者本位の医療
- ・人材の確保・育成
- ・健全経営

・看護体制の確立等を目指すとのこと。

(置病議員 殿岡 和郎)

※ 酵素は全ての動植物の中に存在し、生命活動に必要な発酵物質をつくる素。5,000種以上存在していると言われており、それらを活用し農業、畜産、水産の利用に開発されたもの。

追加議案 審議

給与削減条例案は否決

新文化会館木構造材製作工事12億円で締結

議会最終日、追加議案2件が上程された。新文化会館の集材加工等は(株)シエルター(山形市)に約12億円で締結することになり、反対意見があったが可決。また、市職員及び特別職の職員の給与を減額する条例案は否決された。

新文化会館関連

〈市長〉 提案理由説明

本体工事に先がけて地元木材調達後の乾燥、製材、加工、試験、品質管理等を行う木構造材の製作工事で議会の議決を要するため。

総括質疑

〈高橋 一郎 議員〉

◎予算特別委員会でこの補助金は林野庁に確認済みとの答弁だったが、これは財務省所管であり、6月中の調査

結果を待つて締結すべきではないか。また、(株)シエルターとは競争入札ではなく一社見積りの契約だが妥当な金額だったのか。

〈市長〉復興ではなく経済対策予算なので心配ない。また、日本で技術を持っているのは(株)シエルターだけ、金額も十分精査しているし、当初見積りよりも割安で決定した。

〈丘平 志朗 議員〉

◎木材工事関連だけで森林組合の9千万円を加え約13億円。躯体工事の金額見直しは。資材高騰等で入札不調がある。本施設建設時期は被災地復興時期と重なり、人手不足で増額補正の心配はないのか。
〈文化会館整備課長〉不調になっているのは労務単価を見直す前に発注したものと思われる

給与減額条例案

〈市長〉 提案理由説明

国家公務員の給与減額支給措置を踏まえ、

国に準じた要請に応じ、25年7月1日から26年3月31日までの間、南陽市一般職員及び特別職の職員の給与の支給額を減額するもので、震災復興の一環としてお願いしたい。

総括質疑

〈高橋 一郎 議員〉

◎市長は本市職員の給与水準を近隣市町と比べてどう思っているか。
〈市長〉特段、遜色のない状況と思っている。

◎市長の報酬は県内でもトップクラスだが職員は低い。近隣市町が高いのではない。人員も17〜22年度まで51人13%も削減し、独自に人員も給与も削減している。組合との合意もないのに削減提案を出すのか。

〈市長〉 仰せの通り粛々と議論いただきたい。

〈佐藤 明 議員〉

◎給与削減の総務大臣書簡によれば、地方公務員給与が高いからと国の財政状況が厳しいからの要請ではない。簡単に言えば消費税の露払いだ。そもそも地方公務員の給与は人事委員会勧告が基になる。それを無視して強行するやり方に中止を求めざるを得ないか。

〈市長〉 国の法律の下

にあり、市長会も反対したが結果としてやらざるを得ない。復興予算に回すと言うのが決め手。個別にペナルティーもあるやに聞いている。逆らう力はない。

〈総務課長〉 24年度ラスパイレス指数では置賜地区で本市は白鷹町と同じ5番目。

総括質疑を経て総務常任委員会に付託され、審査の結果、全員否決。その後の本会議の表決でも全員反対して否決。(総務常任委員会委員長報告は10頁記載)



負けられない！練習と団結力で最優秀賞



南陽市消防団 東北水防技術競技大会

2連覇

5月26日(日) 福島市阿武隈川河川敷

大会2連覇おめでとう
ございます。5月2
日に出場が決まって本
番まで24日しか時間が
なく、また、メンバー

も20人のうち半数が入
れ替わった中での快挙
昨年優勝のプレッ
シャーもかなりのもの
だったと思います。新
しく入れ方と昨年も
出場された方、ご苦労
話をお聞かせください。

佐藤 剛さん(赤湯)

当初、自分が出る気
はなかったです。昨年
出場して燃え尽きてい
たし、今年は正直、勝
てないと思っていまし
た。出場が急に決まり
時間がないことと重要
なポジションの担当が
変わったからです。で
も、指揮者が井上第7
分団長に決まって、出
るからには優勝するぞ
と、ひたすら頑張っ

勝ち取った栄冠です。
昨年と一味違ううれし
さでした。

戸田 雄大さん(森前)

今回、水防団として
初めて活動を行い、わ
からないことばかりで
したが、昨年出場した
先輩から教えていただ
き作業を覚えていきま
した。最初は不安ばか
りでしたが、練習を重
ねるにつれ、少しずつ
自信を持てるようにな
りました。本番ではと
ても緊張しましたが、
練習の成果を出すこと
ができました。1カ月
もない短い期間です
が水防団の一員として
活動できてとても良い
経験になりました。

小川 正太さん(棚塚)

声がかかったとき
「えっ！」と思わず叫
んだ。自分で大丈夫かと

思ったけど、急遽の招
集で人員は多い方がい
いと思いましたが、二
三転し、その度、覚え
なおすのに苦労しまし
た。会社の休み時間を
利用し動画等で何度も
確認し、前年度出場選
手の足を引っ張らない
ように頑張りました。

連日の厳しい練習で筋
肉痛もひかず、会社
にも迷惑をかけ心が折
れましたが、仲間た
ちと作業やミーティ
ングを繰り返すうちに
意識は高まり作業も美
しくタイムも縮まりま
した。いざ、本番。心
地よい緊張感で体は驚
くほど動いてくれました。
それは、先輩の熱い
指導と気配りと練習の
成果を出し切れば負け
ないと信じていたから
です。辛かったですが、
切磋琢磨し全力で挑

んだ。自分で大丈夫かと

で勝ち取れたすばらし
い体験に感謝します。



「シート張り工法」と
「月の輪工法」の2種目
を所要時間15分以内で
手順の正確さ、チーム
ワーク、出来栄えを
競ったわけですが、緊
張はなかったですか。
その時の心理状況はど
うだったでしょうか。

長嶋 孝大(本湯町)

昨年出場したので前回ほどの緊張はなかったが、出場するからには勝ちたいと思っていました。初出場の仲間が時間もない厳しい状況の中で必死に練習をしている姿を見て、勝たせてやりたいという強い気持ちになりました。今大会も最優秀賞をいただきましたが、それよりもチームが一つにまとまり、同じ目標に向かって達成できたという経験が一番の宝となりました。



佐藤 康(柗塚二)

大会当日での急なルール変更があり、緊張を抑えることができずに工法開始！と合図がかかりました。無我夢中で「シート張り工法」「月の輪工法」2種類の工法にあたりました。工法中は普段通りの実力は出せませんでした。最優秀賞の結果を聞いてようやく緊張が解けました。



消防団員として日頃から心がけていること、家族への思いや市民の方に呼びかけたいことなどをお話ください。

佐藤 真人(柗塚二)

水防大会の練習で疲れた自分に対して、いつも労いの言葉をかけてくれる家族。出場するからには一番良い成績をと励ましてくれたのも家族。こんな家族の支えが日頃の消防団

活動の糧になり、家族の住む街を火災から守っていかうという強い思いがでています。家族に感謝しています。



川井健太郎(表町)

消防団は、地域の人間が一つの使命感で結束しています。異業種や異世代の方なので自分にはない価値観に触れることができるのも魅

力の一つです。訓練も大切ですが交流、連携、和で結束し組織力の基になります。また、地域みなさんが消防団活動を目にした際に、安心を感じたり防災意識を高めるきっかけになれば幸いです。そして、子どもたちに地域を愛し、守ろうとする心が受け継がれていくことを願っています。家族には深謝です。



インタビューに答えてくれた普段着姿のみなさん

こうなあってほしい南陽市

時代に合った子育て支援を

南陽市赤湯 青野百合子

長井市から南陽市に嫁いでもうすぐ9年目。7歳と3歳の男の子がいます。こちらに嫁いで、自転車に乗って遊んでいる子どもを見かけることが少ないなあと感じました。長男が生まれてしばらくすると、自転車を乗り始



毎晩、家族で公衆浴場楽しく入っています。

めました。補助輪を取って練習する場所がなく、近所に広くて自転車もたくさん乗れる場所があればいいなあと思います。それから医療費。3歳以上になったら通院一回で530円支払い、あとで市役所に領収書を持つていき返金手続きするのは時間もかかり大変だと思えます。時代に合ったサービスを、南陽市や議会の皆さんに願います。

議員在職25年表彰



佐藤 明 議員



伊藤俊美 議員



殿岡和郎 議員

評議員役職功労感謝状



遠藤榮吉 議長

祝 議員在職25年表彰 **賞** 評議員役職功労感謝状
全国市議会議長会
全国市議会議長会より、4名の議員が表彰と感謝状を受賞されました。市議会議員在職25年の表彰を受けた方は、殿岡和郎議員、伊藤俊美議員、佐藤明議員。長きにわたって市政の発展に尽くされた功績が表彰されました。全国市議会議長会の評議員として感謝状を受けられた遠藤榮吉議長。会務運営の功績を賞されました。これまでのご労苦に深甚なる敬意と感謝の意を表します。誠にありがとうございます。

表紙の写真

梨郷小学校（淀野秀樹校長）のプール開きが6月24日（月）に行われました。

当日は梅雨の真ただ中にもかかわらず、絶好のプール日和で夏のような暑さでした。それでも水はまだ少し冷たく、身体を濡らすシャワーでは身震いする子供たちの悲鳴も聞

こえました。

プールに入る前は各学年とも今年の目標に向けて「がんばるぞー」の掛け声があり、上級生によるクロール・平泳ぎ・バタフライの模範泳ぎの披露には、大きな拍手が送られました。その後全員でプールに入り、大きな歓声がこだまして、これからはじまる楽しいひと夏のスタートでした。

編集後記



く、読んでもらえる議会だより」を目指してまいりました。

皆様からの声をお寄せいただけたら、更に充実していくものと思っております。

東北南部の梅雨入りが6月18日とか？一向に梅雨らしさを感じられない日々が続きます。季節毎の「らしさ」があつてこそ、地球の異常を畏れず、平穩に過ごせる気がします。さて、下記編集委員での議会だより発行が1年を経過致しました。この間「よりわかり易



- 委員長 片平志朗
- 副委員長 山口正雄
- 委員 白岩孝夫
- 委員 高橋一郎
- 委員 船山利美
- 委員 吉田美枝